

チャレンジ！前へ！Season2



離任式 ～お世話になった先生方とお別れの式～

春の定期異動により9名の先生方が他校へ異動したり、新しい道に進んだりします。言葉では言い尽くせない感謝がいっぱいにあふれます。私たち教職員はもちろん、子供たちも同じです。そっと耳を傾けてくれたとき、がんばれって言葉をもらったとき、叱られたとき、褒められたときなどの出来事がふっと頭をよぎった事と思います。「異動は最大の研修である」と栃木県教育委員会は唱えます。そうは分かっていますが、別れとはまた別だと感じます。やっぱり別れは嬉しいものではありません。

でも県教委が言うように大きな希望もあります。他校や別の職場で大いに力を発揮してくれることです。子供たちへの対応の仕方、職員室で取り組んだ学びなど、お別れする先生方が感じたり学んだりしたことへの「希望」です。本校で感じた教育への思いを、新しい子供たちや新しい職場で思いっきり表現してほしい。私たちも子供たちもそれを期待しています。

先生方の感謝を胸いっぱいにして感謝の言葉をお伝えします。ありがとうございました！



転出される先生方に関係が深かった学年の子供たちから思いのこもったお手紙と花束が渡されました。



ちょっと待ったあ～！

6年生から声があがりました。
「これまで校歌伴奏をしてくれた先生に最後の校歌伴奏をお願いします！」



式の後には子供たちと関連する学年でお別れの会です。なんと2年生は「最後に音楽の授業がしたい」とリクエスト。転出される先生方から子供たちに直接言葉をかけていただきました。別れを惜しむ涙は、子供たちへ注がれた先生方の思いそのものです。



記憶はときに薄れてしまうもの。でも先生方からいただいた温かさや支援は子供たちの心に永遠に残ります。